



静岡市都市景観表彰事業

あなたの好きな
“まちかど”を、
写真を添えて
教えてください。

静岡市まちかどコレクション

趣 旨

市民の皆様より、身近にある良好な景観を、発見・推薦して頂き、表彰・情報発信を行うことにより、市民の皆様の景観に対する意識の向上を図ると共に良好な景観形成を推進する。

募集状況

- ・ 募集期間：平成26年9月1日(月)～10月31日(金)
- ・ 応募件数：106件

部門の種類

- ・ 部門1：まちかど賑わいコレクション
- ・ 部門2：まちかど緑コレクション
- ・ 部門3：まちかど看板コレクション

選定の流れ



静岡市まちかどコレクション選考委員会委員

- | | |
|--------------|---------------|
| ・ 寒竹 伸一(委員長) | 静岡文化芸術大学大学院教授 |
| ・ 土屋 和男 | 常葉大学造形学部准教授 |
| ・ 櫻井 淳 | (公社)静岡県造園緑化協会 |
| ・ ナレス マハラジャン | 静岡市国際交流協会 |
| ・ 本原 令子 | 美術家 |
| ・ 山本 克也 | 静岡市副市長 |



静岡市内には、実に美しい景観が存在します。

それは、“まち”の魅力を高めてくれるおしゃれな建物やお店、緑や看板、懐かしい路地など、市民の皆さんが「この辺りが“いいね”」と感じる身近にある景観です。

この度、そんな身近にある“まちかど”に存在する魅力的な都市景観を「みつけて」、「集めて」、「広める」静岡市都市景観表彰事業「静岡市まちかどコレクション」を実施致しました。

市民の皆さんが身近な場所で「好き」とか「大事にしたい」と思うお気に入りの景観を推薦いただき、表彰することで、都市景観に対する関心を高め、「静岡市のまちかどの魅力」について再発見してもらい、これまで以上に市民の皆さんと行政が連携しあって、より一層魅力ある静岡市の景観づくりをしていくための礎としていきたいと考えています。

今回は、「エコロジー団地 池田の森」をはじめ、6件の優れた景観を表彰致しました。受賞されました景観は、それぞれ静岡市を代表する「まちかど」として個性豊かな空間を人々に提供しており、まちの魅力向上に大きな役割を担っています。

この事業は、平成27年度からの「第3次総合計画」の目指すべき将来像「世界に輝く静岡の実現」にもつながる施策として、国内はもとより世界に向けて発信できるよう良好な景観形成を推進していきます。

もともとある「景観素材」を市民と行政の協働のもとに「みがきあげ」最大限に活かしていけば、わくわくと希望に満ちた「希望の岡」になるでしょう。

選ばれた6景観は、それぞれに、すぐれた様相であり、その選出理由についても、それぞれにコメントがなされていますので、ここでは、何故に池田の森が「まちかどコレクション大賞」に選出されたかについて、少しコメントさせていただきたいと思います。

コンテスト名にもあるように、このコンテストは「静岡市」の「まちかど」の「景観」のコレクションです。景観というのは、単体存在物が独立して存在している様を言うのではなく、周囲の自然環境(風・土)や歴史・文化・生業が有機的に連携することによって、つくり出されるものです。

池田の森は、最近の東京の一人勝ちの中、静岡に住まう私たちは、どのようなスタイルのまちを創っていけばよいかということを考える時、これからの私たちの住まい方に対する答えがありそうな予感がする景観であります。東京的住まい方を追いかけるのではなくわれわれの本質的(新しい)な行き方、生き方をしていきたいという意志が景観としてあらわれているということが大賞として価値を有するとして評価されました。



大賞

エコロジー団地 池田の森

所在地：駿河区池田

所有者：有限会社池田の森ランドスケープ 各個人住宅

設計者：有限会社池田の森ランドスケープ

「池田の森」は、日本平周辺の環境に適応したまちづくりが行われている。

地域の景観に配慮した低層の住宅とエココミュニティの中心となる水田、畑で構成される。

まちづくりに使われている素材は、自然素材を中心とした材料を使用することで、時間の経過とともに落ち着いた景観をつくり出している。

東京一極集中の中、超過密都市と比較し、静岡市の中心ではない場所でどのようなスタイルの街を作っていけばよいのかと考えるとき、自然と調和した持続可能で精神的にも満たされたまちはこれからの地方都市のまちづくりの方向性を、池田の森が示していると考えます。

パーマカルチャー*の考え方を取り込んだ、エコビレッジとして住まいの場に循環型の生産拠点を設け、その中の活動を通じて住民の人達のコミュニティが形成される。ここに住まう人たちの豊かな生活が目に見えてくるようである。

※パーマカルチャーとは、持続可能な環境をつくりだすために、自然を痛めることがない暮らしのデザインのこと。 (櫻井 淳)

池田の森の皆さん

環境・暮らし・食の3つをテーマとして、農園を中心にみんなでまちづくりを行っています。農園では、情報交換をしたり、収穫した野菜で親睦バーベキューを開いたりして楽しんでいます。



パサージュ鷹匠



所在地: 葵区鷹匠

所有者: パサージュ鷹匠

設計・施工者: アンフィニホームズファイナンシャルトラスト株式会社

名前のとおり、通り抜けができる通路を中心に、飲食店や雑貨屋さんなどといったおしゃれなお店が入店している建物である。敷地全体から照明や看板、緑などシンプルながら細部までデザインが行き届き、見る人を飽きさせない空間となっている。

中心の通路は、そこを通り抜ける人、ベンチで休憩する人、会話を楽しむ人などが賑わいの景観を生み出している。食事や買い物などの目的が無くても、その雰囲気を楽しむために足を運びたくなるような空間である。

このパサージュを中心に、周りへと賑わいの景観が広まっていくことに期待したい。

(山本 克也)

ロアシズオカ



所在地: 駿河区南町

所有者: 藤井 嗣也

設計者: 株式会社協同設計 ティエーजी

施工者: 木内建設株式会社

静岡駅の南口から西に約200m行ったところに「ロアシズオカ」というおしゃれな建物がある。

もともと古いビルで、上階は賃貸マンションになっている。

1階の壁は暖かみのある赤レンガ、2～3階はグレーの石造り風で全体的にどっしりとした独特の存在感がある。植栽も含めて、日本ではないような雰囲気が味わうことができる。広い道路ではなく、狭い道路に面していることで情緒を醸し出している。

建物の1階にはイタリアンレストランが、その前には風景に合った高い木があり、夜になると赤いパラソルの下でワインを飲みながら楽しんでいる風景は、まるでヨーロッパにいるかのようである。そんな料理も美味しく、おしゃれな空間に魅せられた若者(特に女性)が、この店にぞくぞくと集っているのを目にする。

こういった人々が憩い、ゆっくりと楽しめる場所があることを多くの人に知ってもらい、一度でもいいから足を運んでもらうことによって、周辺の活性化に繋がればと思う。

(ナレス マハラジャン)

ホテルガーデンスクエア静岡

所在地：葵区紺屋町

所有者：静岡保徳株式会社

設計者：PLAN・Y

施工者：木内建設株式会社



三晃社ビル

所在地：葵区紺屋町

所有者：株式会社シードコーポレーション

設計・施工者：株式会社竹中工務店



通りの両側にならぶ街路樹が落ちつきをもたせている。

若者から幅広い年齢層が立ち寄るにぎわいのあるカフェから、お庭がすばらしい浮月楼の門を過ぎ、モダンなホテル。通りの反対側には自然派の靴屋さん、オーガニック野菜を使ったレストランと、ポリシーをしっかりとった小さな店舗がそれぞれの個性を生かし、点が線になるように、好感のもてる通りをつくっている。

これからも東京やどこか外国の街角を目指すのではなく、静岡らしい顔に出会える、緑を生かしたストリートを目指してほしい。

この通りにふさわしい名前が生まれ、より多くの市民に親しまれ、今後、線が面となって広がっていくことを期待する。

(本原 令子)



こんまつ旗店



所在地：清水区辻二丁目

所有者：こんまつ旗店

製作者：こんまつ旗店

JR清水駅から北に1km弱、旧東海道に面した染物屋さんである。周辺には職人が多く、昭和の職人町の雰囲気を残している。この店では、大きなものでは大漁旗、会旗、優勝旗などから、小さなものでは腕章まで様々な印染を手がけている。港があり港湾関連会社などが多い、この地域に密接に関係した商売といえる。

店の入口は低く抑えられ、奥から瓦屋根が下ってきている。間口3間の店構えでは、大きく足裏が染め抜かれた緑色ののれんが目を引き。これはこの店の仕事を示すものであるが、あえて文字や職業を示す文様は入れず、見る人の想像に任せたかったという。のれんは自然石に繋ぎ止められ、右端の板看板はその後ろに横引きシャッターが格納されるようになっている。また、傘立てやランプシェードは骨董品の転用で、木製建具と相まって落ち着いた調和をつくっている。店をアピールする看板や小物が建築とも関連して、行き届いた工夫がなされている。

(土屋 和男)

あまのや繁田商店



所在地：葵区伝馬町

所有者：株式会社繁田平作商店

設計者：有限会社ケンブリッジの森

施工者：池田建設株式会社

お店正面の右側がコンクリート打ち放しの腰壁のように見える、ということは何か手段として機能をもっているように見えるということだが、そうではなく、この壁は、看板を目的として存在しているという逆転の面白さが評価された。

シンプルなコンクリートの看板は白色の前庭にあり、上には裏を白く塗られた深い庇があり、店の正面はシンプルな左右対称形であり、その正面壁も一番シンプルな色である白色で塗られている。

推薦者の「シンプルながら洗練されており、好感が持てます。」というおすすめの理由がよくわかる看板の在り方である。

また、まわりとの関係性で成り立つ看板であるということがいえる。

室内のお菓子とその奥の中庭の緑が通りからも見えるように、お菓子の陳列方法と照明の配置を工夫するともっとすてきな景観となるであろう。

(寒竹 伸一)

静岡市

都市局 建築部 建築総務課 都市景観推進係

〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1

TEL : 054-221-1123 FAX : 054-221-1135

URL : <http://www.city.shizuoka.jp/index.html>